

令和6年度決算の概要



名古屋高速道路公社

目 次

◆ 令和6年度決算のポイント	1
◆ 令和6年度損益計算書の概要	2
◆ 令和6年度貸借対照表の概要	3
＜参考資料＞	
◆ 会計処理の特徴	4

◆令和6年度決算のポイント



■令和6年度決算のポイントは、以下のとおりです。詳細は、次ページ以降をご覧ください。

① 道路料金収入は、前年度(699億円)から17億円増加し、716億円となりました(+2.5%)。

② 道路管理費は、前年度(306億円)から7億円増加し、313億円を充てました(+2.2%)。

大規模修繕等の補修工事、道路設備の更新工事などを実施しました。

③ 償還準備金繰入(借入金の返済に充てた額)は、前年度(330億円)から10億円増加し、340億円を繰り入れました(+2.9%)。

償還準備金(償還準備金繰入の累計額)は、前年度(8,363億円)から340億円増加し、8,703億円となりました(+4.1%)。

償還率は前年度(50.0%)と比べ2.1ポイント向上し、52.1%となりました。

◆ 令和6年度損益計算書の概要



(単位:百万円)

費用の部					収益の部				
勘定科目	6年度	5年度	前年度比		勘定科目	6年度	5年度	前年度比	
	A	B	A-B	A/B(%)		A	B	A-B	A/B(%)
事業資産管理費	31,265	30,605	660	102.2	業務収入	71,710	69,980	1,730	102.5
道路管理費	31,263	30,601	662	102.2	道路料金収入	71,638	69,910	1,728	102.5
(内消費税納付金)	(4,105)	(4,046)	(59)		マイレージ還元負担金収入	0	1	△ 1	11.5
貸倒引当金繰入	2	1	1	174.5	マイレージ引当金戻入益	2	6	△ 3	39.8
マイレージ還元負担金	0	3	△ 3	15.7	業務雑収入	70	64	6	109.3
一般管理費	1,843	1,650	192	111.7	業務外収益	103	100	3	103.4
業務外費用	4,733	4,812	△ 79	98.4					
(内借入金利息)	(4,572)	(4,644)	(△72)						
小計(管理費用)	37,841	37,067	774	102.1					
償還準備金繰入	33,972	33,013	959	102.9					
合計	71,813	70,080	1,733	102.5	合計	71,813	70,080	1,733	102.5

(注) 端数処理の関係上、計及び前年度比において合わないことがあります。

■ 収益の状況・・・○ 収益の総額は718億円で、そのほとんどがお客様からの道路料金収入となっています。

○ お客様からの道路料金収入は、前年度から17億円の増加となりました。

■ 費用の状況・・・○ 費用の総額は、718億円であり、主なものは、道路の維持補修や料金收受などに要した道路管理費313億円(消費税納付金含む。)、業務外費用(借入金利息など)47億円及び借入金の元金返済に充てた償還準備金繰入340億円となっています。

○ 償還準備金繰入は、収益・費用の状況により、前年度から10億円の増加となりました。

◆ 令和6年度貸借対照表の概要



(単位:百万円)

資 産 の 部					負 債 及 び 資 本 の 部				
勘定科目	6年度	5年度	前年度比		勘定科目	6年度	5年度	前年度比	
	A	B	A-B	A/B(%)		A	B	A-B	A/B(%)
流動資産	12,057	7,259	4,798	166.1	流動負債	69,620	66,510	3,109	104.7
現金・預金など	4,652	77	4,575	6,060.6	1年以内返済予定長期借入金※	58,796	58,423	373	100.6
未収金	7,408	7,184	224	103.1	未払金など	10,824	8,087	2,736	133.8
貸倒引当金	△2	△1	△1	174.6	固定負債	473,559	485,448	△11,889	97.6
固定資産	1,725,974	1,701,920	24,054	101.4	名古屋高速道路債券※	378,300	390,800	△12,500	96.8
道路	1,678,888	1,678,376	512	100.0	政府借入金※	32,436	33,886	△1,451	95.7
道路建設仮勘定	46,519	23,246	23,273	200.1	県・市借入金※	36,861	35,379	1,482	104.2
有形固定資産など	568	298	269	190.2	市中銀行等借入金など※	17,756	17,219	537	103.1
繰延資産	727	796	△70	91.3	退職給与引当金	1,182	1,137	45	103.9
					ETCマイレージ引当金	3	5	△2	57.2
					資産見返交付金	7,022	7,022	0	100.0
					特別法上の引当金等	870,321	836,349	33,972	104.1
					償還準備金	870,321	836,349	33,972	104.1
					基本金(県・市出資金)	325,259	321,668	3,591	101.1
資産合計	1,738,758	1,709,976	28,783	101.7	負債・資本合計	1,738,758	1,709,976	28,783	101.7

(注)端数処理の関係上、計及び前年度比において合わないことがあります。

- 資産の状況…○資産の総額は1兆7,388億円となっています。このうち道路資産は1兆6,789億円であり、資産全体の97%を占めています。
- 負債及び資本の状況…○負債及び資本の総額は1兆7,388億円であり、主なものは、道路債券を含む借入金5,241億円※、元金返済に充てた償還準備金8,703億円、設立団体の愛知県・名古屋市からの出資金3,253億円となっています。

◆ 会計処理の特徴

- 当会社では、企業会計原則に準じた会計処理を行っていることにより、財政状態や経営成績が明らかになっております。
- 有料道路事業は、出資金・借入金により道路を建設し、お客様からの料金収入により返済していくものであり、全ての返済を終えると、本来の道路管理者に引き渡すことになっていることから、借入金が着実に返済されているかどうかを会計処理において適切に把握することが重要です。
- 「道路資産」においては、企業会計上一般に採用されている減価償却費を計上しておりません。
- 借入金の返済に充てた年度の「収支差」(収益と費用の差)を「償還準備金繰入」として費用に計上し、その累計額を「償還準備金」として貸借対照表の負債の部に計上しています。
- 「道路資産」の額と「償還準備金」の額の対比により、道路に投下した資金の償還状況がわかるしくみになっています。